

北陸新幹線開業による影響検証会議

報 告 書

平成29年11月

目 次

目 的.....	1
経 過.....	1
背 景.....	2
1. 検証結果.....	4
(1) 交流人口の拡大.....	4
(2) 経済効果の拡大と雇用の確保.....	5
(3) 歴史・伝統・文化など「金沢らしさ」の保全と継承.....	6
(4) 外国人旅行者の増加.....	6
(5) 市民生活と調和した持続可能な観光振興.....	8
2. 今後取り組むべき施策の方向性.....	9
委 員.....	10

目 的

北陸新幹線の金沢開業により、まちに活気や賑わいなどの効果をもたらされる一方で、一部の地域では市民生活への影響も見られることから、開業から3年目を迎えるにあたり、新幹線開業が本市に及ぼしている影響について検証し、プラスの効果については拡大を図るとともに、マイナスの影響については解決に向けた施策を検討することを目的としている。

経 過

平成 29 年 5 月 24 日 第 1 回会議

- ・開業までの取組について
- ・開業による効果と影響について
- ・効果の拡大と影響の改善について

平成 29 年 7 月 31 日 第 2 回会議

- ・開業による効果と影響について
- ・効果の拡大と影響の改善に向けた取組について

平成 29 年 10 月 11 日 第 3 回会議

- ・報告書（案）について

平成 29 年 11 月 17 日 第 4 回会議

- ・報告書（案）最終とりまとめ

背景

（開業までの取組）

金沢市では、平成19年に「金沢魅力発信行動計画」を策定し、開業までの8年間にわたり、新幹線の開業効果を最大限に引き出すための施策を戦略的かつ計画的に実践するとともに、市民団体や経済団体等からなる新幹線対応金沢市民会議を立ち上げ、地域総ぐるみで、もてなし力の向上と機運の醸成を図ったほか、平成22年には、「北陸新幹線開業により懸念される影響対策会議」を設置し、開業により懸念される影響を最小限に抑制するための施策に取り組んできた。

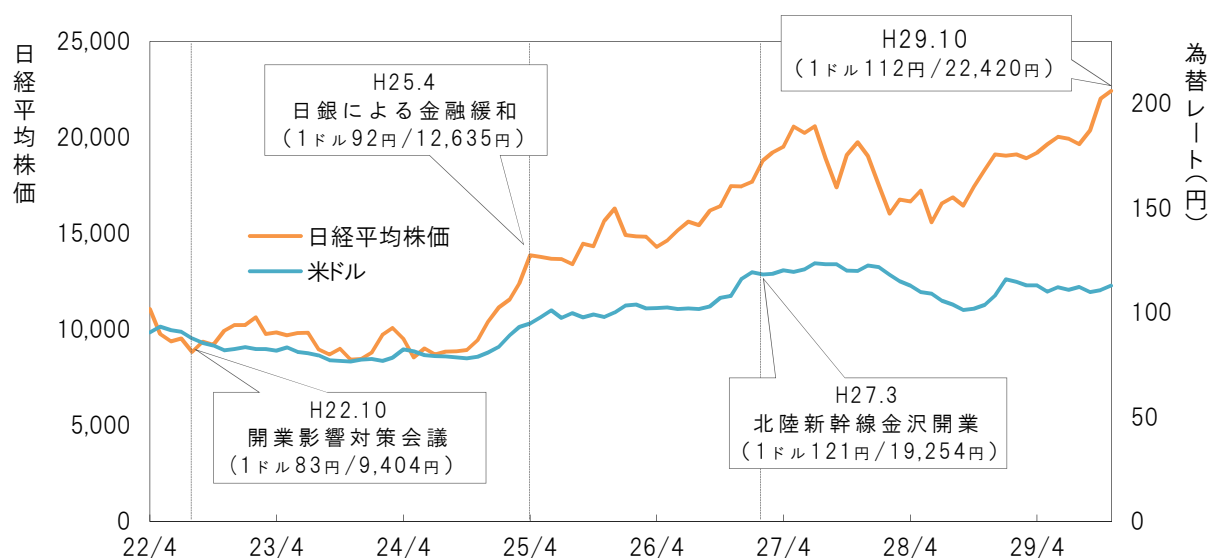
また、経済団体や宿泊業界においても、様々なプロジェクトやプロモーションを展開し、開業後を見据えた誘客の促進や受入れ環境の整備に取り組んできたところである。

区分	懸念された影響	対策の方向性
活力・拠点性の低下	<ul style="list-style-type: none">・ 企業の撤退・ ビジネス等の日帰り客増加・ 消費の流出・ 進学時などの人口の流出・ 市内のアンバランスな発展・ 過度の流入による過当競争	<ul style="list-style-type: none">・ 企業への多様な働きかけ・ 新たな宿泊ニーズの創出・ 金沢ブランドの発信強化
金沢らしさの喪失	<ul style="list-style-type: none">・ ミニ東京化・ 文化・情緒の変化・ 来街者増による生活環境の変化・ 過度の流入による都市環境の悪化・ 市民意識やコミュニティの変化	<ul style="list-style-type: none">・ 金沢文化・情緒の再発見・ 郷土心の醸成・市民が主役のまちづくり

(開業時の経済情勢)

「北陸新幹線開業により懸念される影響対策会議」が設置された平成22年10月時点では、1ドル83円台、日経平均株価9,404円の円高株安だった我が国の経済は、北陸新幹線が開業した平成27年3月には、1ドル121円台、日経平均株価19,254円の円安株高となるなど、景気の回復基調にあった。こうした追い風の中で、北陸新幹線は開業し、この傾向は現在も続いている。

新幹線開業後、多くの方が金沢市を訪れている状況については「開業効果」と呼ばれることが多いが、新幹線はあくまでも移動手段の一つであり、先人達が、まちの個性である歴史・伝統・文化を大切に守り、磨き高めてきた、これまでのまちづくりが、国内外の多くの方から評価されていると考えられる。



1. 検証結果

(1) 交流人口の拡大

平成27年の北陸新幹線金沢開業により、東京と金沢は2時間半で結ばれ、首都圏と北陸の間の鉄道利用者数は3倍に達し、金沢地域への入り込み客数が1千万人の大台を超えるなど、本市の交流人口は大幅に拡大している。

また、新幹線の金沢開業が、テレビや雑誌等で頻繁に取り上げられたことにより、首都圏以外からの観光客も増加したほか、大規模コンベンションの開催数が増え、宿泊施設の稼働率が大都市に次ぐ高水準となり、懸念されていた日帰り客の増加は見られなかった。しかし、その一方で、繁忙期や週末には予約が難しい状況や、一部では価格高騰などの問題が見られた。

このほか、市民にとっては、首都圏との時間的距離が短縮されたことにより、マインドがアクティブになる効果もあったと考えられる。

今後の課題として、高校生の進学先や学生の就職先などの人口動態について引き続き注視しながら、交流人口の拡大を定住人口の増加につなげていく取組や、交流拠点都市として、量から質へ転換を図り、都市のステータスや拠点性、ネットワークの質を高める取組について検討する必要がある。

表1 県外から金沢地域への観光入り込み客数（推計）

（単位：千人）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入り込み客数	8,152	7,618	7,942	8,239	8,442	10,064	10,335

資料：統計からみた石川県の観光

(2) 経済効果の拡大と雇用の確保

北陸経済が好調な理由は、新幹線開業に伴う経済の活性化と、ものづくりが盛んな北陸地域において、円安などによる海外需要の拡大を受け、企業の生産活動が活発になったことにある。

交流人口の増加に伴う消費需要の拡大は、宿泊業や飲食業など関連業界の業績向上につながり、雇用の増加や投資の拡大などの経済効果をもたらしている。

また、新幹線の開業前後に70近くの企業が支店・営業所を開設しており、懸念された撤退は1社であった。景気が回復局面にあることもあって、オフィスの空室も減少し、商業地の最高地価が上昇したほか、住宅地の平均地価も平成27年から上昇に転じている。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、全国の主要都市では、宿泊施設の建設が相次いでおり、平成29年以降、東京では客室数が26%、大阪では35%、京都では36%増加すると見込まれている。金沢市においても、平成29年4月以降で18以上の宿泊施設が整備され、客室数が26%増加すると見込まれており、新幹線開業による第二段階の経済効果として、金沢の将来性に着目した新たな建設投資の誘発につながっている。

南町周辺で宿泊施設の整備が相次いでおり、オフィスビルがホテルに変わり、周辺では鼠多門の復元が進められるなど、まちなかに賑わいを取り戻す好機となっている。

こうした状況もあって、有効求人倍率は全国平均を大きく上回っており、人手不足が顕在化している。

今後の課題として、宿泊施設の整備に合わせ、まちの受入れ力（キャパシティ）を高めていくとともに、現状の人手不足の解消はもとより、人口減少時代も見据え、将来にわたり人材を確保していくことや、雇用の増加を定住人口の増加につなげていく取組について検討する必要がある。

(3) 歴史・伝統・文化など「金沢らしさ」の保全と継承

金沢を訪れた観光客の半数以上が、金沢城公園・兼六園、茶屋街、近江町市場を訪れており、滞在中に満足したこととして、食やまちなみをあげている。先人達が大切に守り、磨き高めてきた金沢のまちの個性である、歴史・伝統・文化が、国内外の多くの方々から評価されている。

一方で、食やまちなみなどと比べると、伝統工芸などの認知度は高くない。

また、観光客が集中することにより、これまで大切にしてきた文化の厚みによって醸し出される趣や静けさなどの「金沢らしさ」が、次第に失われつつあるのではないかとの懸念もある。

今後の課題として、2023年の北陸新幹線の敦賀延伸や2027年のリニア中央新幹線の名古屋開業を念頭に置くと、歴史・伝統・文化など金沢のまちの魅力をより一層磨き高めていくことが何よりも大切である。そのためにも、伝統文化や工芸を生かしたビジネスの創出、工芸体験や若者への情報発信などを通じて金沢のファンを増やしていく取組のほか、特定の地域への集中を緩和するため、寺町台やにし茶屋街、金沢港周辺地域など、他の魅力あるエリアへの分散や、「金沢らしさ」を明確にする取組について検討する必要がある。

(4) 外国人旅行者の増加

政府は、平成28年に策定した「明日の日本を支える観光ビジョン」において、従前の目標を大幅に前倒し、2020年の訪日外国人旅行者数を4,000万人、旅行消費額を8兆円、2030年には6,000万人、15兆円と定め、観光を我が国の基幹産業に成長させるとしている。

金沢を訪れる外国人旅行者も増加しており、「金沢市観光戦略プラン2016」では、2020年の外国人宿泊者数の目標を40万人としていたが、2016年（平成28年）の段階で39万6千人に達している。

訪日外国人旅行者は、ピークの時期が日本人と異なるほか、中長期滞在が多く、消費単価が高いなどの特徴がある。日本政策投資銀行の推計では、消費への影響として、外国人旅行者約13人が定住人口1人に相当するとの試算も示されており、閑散期や平日の需要の底上げをはじめとした経済効果の拡大が期待されている。

2年後のラグビーワールドカップ日本大会は、全国12都市で開催され、44日間の会期中、多くの海外観戦客が来日することから、大会後のリピーター獲得につなげる意味においては、東京オリンピック・パラリンピック以上に重要な機会といえる。

今後の課題として、外国人旅行者は増加しているものの、石川県を訪問している割合は2%に過ぎないことや、認知度が低いことを踏まえ、効果的なプロモーションや受入れ環境の充実、広域観光や中長期滞在の推進など、更なる誘客に向けた取組を急ぐ必要がある。また、外国人のニーズがある夜間の観光についても検討する必要がある。

表2 訪日外国人旅行者数

(千人)							
年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
訪日外国人数	8,311	6,219	8,358	10,364	13,413	19,797	24,040

資料：観光庁

(5) 市民生活と調和した持続可能な観光振興

ひがし茶屋街では、食べ歩きやぼい捨て、交通混雑などの問題が生じ、周辺地域にも影響が及んだが、地域住民によるまちづくり協定の締結など、数々の取組によって、改善が図られている。しかし、現在も多くの観光客が訪れていることから、引き続き、市民生活への影響を注視していく必要がある。

また、近江町市場においても、開業直後の混雑により、高齢者をはじめとする地元客が買い物がしにくくなる状況が見られたが、商店街振興組合のマナーアップの取組などを通じて、改善が図られている。ただ、開業直後のイメージが根強く、地元客が開業前の水準に戻っていないとの声も聞かれる。

こうした地域からは、「宿泊業や飲食業などは恩恵を受けても、住む人には何の恩恵もない」といった声も聞かれる。加えて、「暮らすように旅したい」というニーズが世界的に高まっており、住宅宿泊事業法の施行に向けて、民泊の拡大に対する懸念も広がっている。

今後の課題として、金沢市が持続可能な観光振興を図るためには、市民生活への影響を緩和し、観光に対する市民の理解を深めていくことが大切である。

観光の振興が、住む人、訪れる人の双方にとって、魅力的なまちづくりにつながる仕組みを構築するためにも、宿泊税の導入については、全ての宿泊施設利用者を対象とする京都市の制度を基本に、住宅宿泊事業法に基づく民泊への対応と併せ、早急に検討する必要がある。

2. 今後取り組むべき施策の方向性

(1) まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興

- ・ 歴史的なまちなみや景観の保全
- ・ 伝統文化・伝統芸能の支援（茶屋・芸妓）
- ・ 食文化の継承・振興
- ・ 伝統工芸の振興
- ・ 夜間景観の魅力向上
- ・ 無電柱化の推進
- ・ 建築文化など新たな魅力の発信

(2) 観光客の受入れ環境の充実

- ・ インバウンド対策の強化
- ・ 宿泊施設のおもてなし力を高める改修への支援
- ・ オフシーズンにおける誘客の底上げ
- ・ 広域観光や中長期滞在の推進
- ・ 歩けるまちづくりの推進
- ・ 文化イベント・スポーツ大会の誘致・開催
- ・ 文化・スポーツツーリズムの推進
- ・ M I C E ・スポーツ施設の充実
- ・ 夜の観光の充実
- ・ バリアフリー観光の推進
- ・ 人手不足への対応

(3) 市民生活と調和した持続可能な観光の振興

- ・ 市民生活と調和した持続可能な観光振興のための宿泊税の導入
- ・ 無許可・無届出の宿泊施設に対する監視・指導の強化
- ・ ぽい捨てなどの迷惑行為の防止
- ・ 公共交通の充実
- ・ レンタサイクル「まちなか」の利便性の向上
- ・ まちなかの歩行環境の向上
- ・ 高齢者のまちなかでの買い物の支援
- ・ 市民・観光客双方の災害時の安全・安心の確保
- ・ 観光駐車場等料金の適正化

委 員

座 長	水 野 一 郎	金沢工業大学 教授
	北 村 哲 志	金沢商工会議所 副会頭
	佐無田 光	金沢大学 教授
	庄 田 正 一	金沢ホテル懇話会 会長
	鈴 木 博 竹	日本政策投資銀行 北陸支店長
	浜 崎 英 明	金沢経済同友会 代表幹事
	宮 田 慶 一	日本銀行 金沢支店長
	細 田 大 造	金沢市 副市長

(順不同)

事務局 金沢市都市政策局企画調整課

参 考 资 料

参考資料目次

1. 交流人口の拡大.....	2
2. 経済効果の拡大と雇用の確保.....	6
3. 歴史・伝統・文化など「金沢らしさ」の保全と継承.....	11
4. 外国人旅行者の増加.....	16
5. 市民生活と調和した持続可能な観光振興.....	20

開業前後の本市及び世界の動き

年 月	金 沢 市	国 内	世 界
H22 3 7 10	・開業影響対策会議設置	・中国向け観光ビザの緩和 (以後も段階的に拡大)	・EUがギリシャ支援合意
H23 3 5 9 10 11	・香林坊ラモーダ開業 ・鈴木大拙館開館 ・卯辰山麓地区の重伝建選定	・東日本大震災 ・九州新幹線全線開業	・ニュージーランド地震 ・ビンラディン容疑者殺害 ・タイで記録的洪水 ・トルコ東部で大地震
H24 3 7 9 11 12	・「まちのり」の本格導入 ・学生のまち市民交流館開設 ・寺町台地区の重伝建選定	・九州北部 豪雨災害 ・第2次安倍内閣発足	・金正恩氏が第1書記に ・ロンドン五輪 ・オバマ米大統領再選 ・中国 習近平体制発足
H25 3 4 6 9 10	・のと里山海道が無料化 ・食文化条例制定 ・開業記念事業キックオフイベント (レールウォーク、プロジェクトマップ、ソング等)	・日銀による金融緩和 ・富士山が世界文化遺産に ・東京五輪開催決定	・キプロス預金封鎖 ・ボストン・マラソンで爆発事件
H26 4 6 8 10	・ル・キューブ金沢開業 ・「dining gallery銀座の金沢」開業	・消費税8%施行 ・広島 豪雨で土砂崩れ ・日銀が追加金融緩和	・FRBが量的緩和を終了
H27 1 3 4 5 8 9 11	・ 北陸新幹線金沢開業 ・ユネスコ創造都市世界会議 ・片町きらら開業 ・第1回金沢マラソン		・仏週刊誌本社襲撃テロ ・欧州債務危機 ・欧州難民危機 ・中国人民元の切り下げ ・仏パリ同時多発テロ
H28 2 3 4 5 6 8	・香林坊東急スクエア開業	・日銀がマイナス金利政策導入 ・北海道新幹線新函館開業 ・熊本地震 ・伊勢志摩サミット開催 ・台風10号で北海道被害	・ベルギー同時テロ ・英国がEU離脱を選択 ・リオデジャネイロ五輪
H29 1			・米トランプ大統領就任

1. 交流人口の拡大

(1) 北陸新幹線の利用状況

区 分	利用者数	前年比	期 間
1年目	925.8万人	295% (在来線特急比)	H27.3.14~28.3.13
2年目	858.4万人	93%	H28.3.14~29.3.13

資料：JR西日本（上越妙高～糸魚川間実績）

(2) 県外から金沢地域への観光入り込み客数（推計）

（単位：千人）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
入り込み客数	8,152	7,618	7,942	8,239	8,442	10,064	10,335
日帰り客	5,636	5,132	5,261	5,378	5,807	6,628	
宿泊客	2,516	2,486	2,682	2,862	2,634	3,436	
宿泊客比率	30.9%	32.6%	33.8%	34.7%	31.2%	34.1%	

資料：統計からみた石川県の観光（H28内訳は未公表）

(3) 発地別観光入り込み客数（推計）

- ・ 関東からの入り込みが大きく伸びただけでなく、関西、中京圏からも増加している。

（単位：千人）

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
県内	3,819	3,644	3,679	3,562	3,503	3,508	
富山県	485	422	383	329	322	381	
福井県	261	230	248	288	284	299	
首都圏	1,281	1,064	1,105	1,311	1,390	2,515	
中京圏	599	561	636	675	721	742	
関西	600	589	655	906	956	1,052	
その他	1,108	1,110	1,235	1,169	1,267	1,566	
計	8,152	7,618	7,942	8,239	8,442	10,064	

資料：統計からみた石川県の観光

(4) 県内におけるコンベンション開催状況

- ・ 大規模コンベンションの件数が2～3倍に増え、人数が倍増している。

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
件数（件）	353	362	393	401	326	396	382
うち大規模	11	12	18	16	10	32	24
参加人数（人）	75,575	73,999	93,112	88,834	62,900	149,606	133,279

資料：金沢市コンベンションビューロー 大規模は参加者実績1000人以上

(5) 旅行雑誌等で金沢が取り上げられた回数

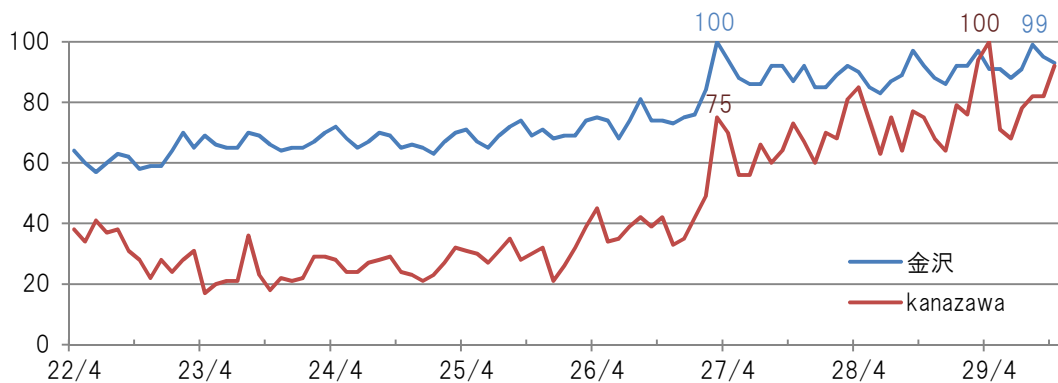
・平成 27 年度には 150 件超の掲載があり、キャンペーン効果が大きかったと推察できる。

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
掲載回数			33	16	39	158	78

資料：金沢市 平成 24 年度より集計開始

(6) 検索サイト Google における「金沢」や「kanazawa」の語での検索状況

- ・「金沢」での検索が、平成 27 年 3 月に最高値を示し、その後も高い水準を維持。
- ・海外を含む「kanazawa」での検索は、平成 29 年 8 月に最高値を示している。



資料：北國総合研究所調べ

数値は、特定の地域と期間について、グラフ上の最高値を基準として検索インタレストを相対的に表したものの。100 の場合、そのキーワードの人気度が最も高いことを示し、数値が 50 の場合はそのキーワードの人気度が半分であることを、数値が 0 の場合はそのキーワードの人気度が最も高いときの 1%未満であることを示す。

(7) ホテル・旅館の定員稼働率

年		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
金 沢 市	シティホテル	55.8%	49.5%	60.0%	59.4%	60.8%	72.4%	74.5%
	ビジネスホテル	52.5%	53.2%	59.0%	56.3%	59.7%	55.1%	59.1%
	旅 館	18.3%	17.1%	17.1%	18.4%	24.0%	29.3%	28.6%
全 国	シティホテル	61.5%	55.2%	59.6%	63.0%	65.3%	68.3%	66.8%
	ビジネスホテル	59.3%	52.4%	57.0%	59.4%	61.7%	64.0%	63.4%
	旅 館	33.8%	22.5%	23.3%	22.2%	23.0%	24.4%	24.6%

資料：金沢市、観光庁

(8) 県内から首都圏への旅行者数

H24=100

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
H24 比			100.0	107.2	110.3	202.9	188.9

資料：大手旅行会社資料 実数は非公表

(9) バス利用状況

(単位：千人)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
市内線	定 期	6,858	7,158	7,338	7,614	7,976	8,292	8,591
	定期外	14,395	13,847	13,920	13,819	14,012	16,538	16,421
	総 数	21,253	21,005	21,259	21,433	21,988	24,830	25,012
市外線	定 期	1,263	1,278	1,311	1,365	1,394	1,400	1,395
	定期外	3,187	3,140	3,115	3,149	3,096	3,140	3,104
	総 数	4,450	4,418	4,426	4,514	4,489	4,541	4,499

※市内線：金沢市内だけを走る路線／市外線：金沢市内と他市町を結ぶ路線

資料：西日本JRバス株式会社金沢支店、北陸鉄道株式会社、北鉄金沢バス株式会社、加賀白山バス株式会社

(10) ふらっとバスの利用状況

(単位：千人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
此花ルート	201	201	198	198	201	207	199
菊川ルート	234	222	217	208	206	208	216
材木ルート	200	191	191	189	189	196	190
長町ルート	165	163	157	160	159	166	158
総 数	800	777	763	756	755	777	763

資料：金沢市

(11) レンタサイクル「まちなり」年間利用状況

- ・平成27年度は前年比166%の増加となった。

(単位：回)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
利用回数		1,788	81,017	94,703	130,885	216,837	214,770

資料：金沢市（「まちなり」は平成24年3月事業開始）

(12) タクシー利用状況

- ・ 運送収入、日車営収に改善が見られる。

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
車両台数	1,384	1,342	1,336	1,324	1,324	1,305	
実働率	78.8%	79.3%	74.8%	72.9%	71.0%	70.0%	
運送収入(百万円)	7,310	7,486	7,311	7,120	7,189	7,897	
日車営収(円/台)	18,671	19,076	19,719	20,268	21,028	23,388	

資料：金沢交通圏特定地域協議会 法人タクシー実績

(13) 羽田便利用状況

- ・ 小松便が平成 27 年度は 6 割に減少し、平成 28 年度にはその水準を維持している。

(単位：千人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
小松空港	1,582	1,548	1,669	1,738	1,750	1,124	1,093
のと里山空港	133	149	151	147	151	153	158

資料：小松空港、のと里山空港 のと里山空港は当年 7.7～翌年 7.6 で集計

(14) 金沢市内への修学旅行受入状況

- ・ 平成 27 年度以降、学校数、生徒数が増加している。

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
学校数(校)				7	5	15	25	23
生徒数(人)				554	481	2,141	3,916	3,993

資料：金沢市 H25 から集計を開始 H29 は予定

(15) 市立中学校の修学旅行の行き先

- ・ 北陸新幹線開業後、平成 29 年度に関東が若干増えている。

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
関 東	5	7	2	2	2	2	2	4
関 西	18	17	21	20	21	19	21	18
その他	1	0	1	2	1	3	1	2

資料：金沢市教育委員会

2. 経済効果の拡大と雇用の確保

(1) 支社・支店開設状況 (H26.5~28.7)

- ・開業前年から、金沢市内に 68 企業が支店・営業所を開設している。
- ・開業後に拠点を廃止したのは 1 企業にとどまっている。

(2) オフィスの空室状況

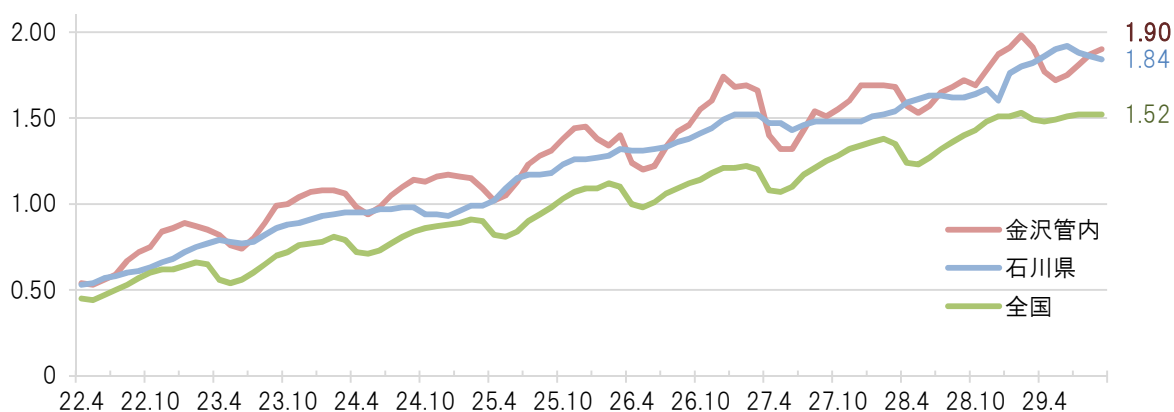
- ・オフィスの空室率が大きく減少し、駅周辺では満室に近い状況となっている。
- ・香林坊エリアについても、平成 28 年 6 月期から空室率が減少に転じている。

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
金 沢 市		21.6%	20.0%	17.4%	13.8%	14.8%	13.4%
香 林 坊		9.7%	12.4%	14.0%	14.8%	17.4%	16.7%
駅 周 辺		16.1%	12.7%	9.4%	8.3%	9.2%	7.3%
東 京		7.6%	7.2%	7.1%	5.4%	4.2%	2.9%
名古屋市		13.4%	12.3%	9.9%	9.7%	7.1%	6.1%
大阪市		11.0%	10.2%	10.3%	9.0%	7.7%	6.8%
富 山 市		18.2%	17.3%	15.6%	13.4%	12.9%	11.0%
福 井 市		10.0%	10.9%	10.3%	9.9%	10.0%	9.7%

資料：CBRE 各年 3 月時点・中基準（延床面積 500 坪以上）での比較

(3) 有効求人倍率

- ・北陸の有効求人倍率は全国トップの水準にあり、人手不足が顕在化している。



資料：金沢公共職業安定所 金沢管内：金沢市、かほく市、津幡町、内灘町

(4) 平成 29 年から 2020 年までの客室数増加見込み

都市	東京	大阪市	京都市	主要 8 都市	金沢市
客室増加数 (室)	25,000	18,000	8,000	65,000	2,380
増加率	25.6%	34.9%	36.1%	26%	26.5%

資料：C B R E、ただし金沢市については次項の単純推計を採用

(5) 金沢市内の宿泊施設開業見込み

- ・金沢市内で平成 29 年度から 2020 年にかけて少なくとも 26.5%の客室数増加が見込まれる。
- ・南町周辺で 9 件、金沢駅周辺 7 件の開業が計画されている。

開業時期	名称等	客室数	場所
H29. 4	カナメ イン タテマチ	38	堅町
7	金沢カプセルホテル武蔵町	120	武蔵町
8	クム カナザワ ザ シェア ホテルズ	47	上堤町
11	ユニゾイン金沢百万石通り	220	尾山町
12	ホテル・ザ・エム金沢 雨庵	47	尾山町
	エンブレムステイ金沢	50	尾張町
	ホテルリブマックス金沢駅前	85	中橋
H30. 春	ホテルビスタ金沢 (仮称)	213	広岡
4	ホテルウイングインターナショナルプレミアム金沢駅前	121	堀川新町
秋	ブランド未公表 (エムジーリース)	200	下堤町
10	ファーストキャビン	175	上堤町
冬	御宿 野乃金沢 (仮称)	不明	下堤町
H31. 初	三井ガーデンホテル金沢 (仮称)	168	上堤町
春	ホテルインターゲート金沢	164	高岡町
	ユニゾインエクスプレス金沢駅前 (仮称)	392	堀川新町
2020. 6	ハイアットセントリック金沢	250	広岡
	ハイアットハウス金沢	90	広岡
頃	金沢都ホテル建替	不明	此花町
	計	2,380	

資料：公式発表、報道

○客室数の増加見通し

H28 8,978 室 → H32 11,358 室 (26.5%増加)
(15,907 人)

※計画通りに建設された場合の増分を単純計算したもの

(6) 地域別転入転出状況

① 転入

転入元	(単位：人)						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
石川	5,258	4,891	5,234	5,350	5,310	5,395	5,013
富山	1,390	1,403	1,360	1,392	1,354	1,371	1,262
福井	797	695	742	773	745	722	735
北海道・東北	594	693	542	604	586	611	581
東京	1,090	1,121	1,168	1,093	1,166	1,242	1,283
神奈川・埼玉・千葉	1,111	1,177	1,217	1,186	1,133	1,161	1,183
茨城・栃木・群馬	249	249	247	237	243	217	229
甲信越	657	679	675	798	695	703	632
東海	1,799	1,675	1,642	1,715	1,667	1,834	1,695
関西	1,810	1,645	1,693	1,662	1,702	1,839	1,723
中国・四国・九州	777	800	911	875	831	927	847
外国	270	269	708	1,540	1,820	1,861	1,869
計	15,802	15,297	16,139	17,225	17,252	17,883	17,052

資料：金沢市（各年1～12月・外国人含む）

② 転出

転出先	(単位：人)						
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
石川	4,562	4,620	4,447	4,614	4,403	4,401	4,480
富山	1,141	1,149	1,138	1,134	1,212	1,173	1,223
福井	492	558	569	522	523	521	504
北海道・東北	524	573	497	583	517	541	572
東京	1,405	1,422	1,531	1,502	1,416	1,598	1,659
神奈川・埼玉・千葉	1,401	1,295	1,362	1,390	1,358	1,410	1,508
茨城・栃木・群馬	238	241	249	256	237	220	255
甲信越	512	550	465	579	548	619	544
東海	1,806	1,810	1,710	1,880	1,739	1,817	1,911
関西	1,820	1,913	1,805	1,873	1,919	1,844	1,851
中国・四国・九州	808	883	871	828	842	951	897
外国	253	277	479	731	698	741	833
計	14,962	15,291	15,123	15,892	15,412	15,836	16,237

資料：金沢市（各年1～12月・外国人含む）

③人口の社会動態

- ・転入者が転出者を上回る転入超過の状況が続いている。
- ・ただし、対首都圏に限ると、転出者が転入者を上回る状況が続いている。

(単位：人)

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
転入者数	15,802	15,297	16,139	17,225	17,252	17,883	17,052
転出者数	14,962	15,291	15,123	15,892	15,412	15,836	16,237
社会増減	840	6	1,016	1,333	1,840	2,047	815
対首都圏	△605	△419	△508	△613	△475	△605	△701

資料：金沢市 (首都圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)

(7) 金沢大学における入学者の出身地及び卒業生就職先状況

- ・平成28年度、関東からの入学者の割合が若干増え、近畿からの入学者を上回った。
- ・平成27年度以降、関東に就職する卒業生の割合が増加している。

①入学者の出身地域

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
北陸	963	975	904	957	954	971	883
関東	89	98	108	96	115	129	135
東海	327	288	318	299	267	281	319
近畿	143	121	120	147	113	139	116
その他	279	331	356	290	326	272	323
計	1,801	1,813	1,806	1,789	1,775	1,792	1,776

②卒業生(学士)の就職先地域

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
北陸	514	513	581	611	549	518	
関東	143	133	158	145	171	196	
東海	147	148	138	148	143	132	
近畿	64	75	73	80	64	73	
その他	75	114	93	88	124	122	
合計	943	983	1,043	1,072	1,051	1,041	

資料：金沢大学ホームページ

(8) 首都圏との間の進学状況

①全国から金沢市内の大学への進学状況

(単位：人)

進学者出身地	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
石川	1,559	1,621	1,534	1,955	1,793	1,901	1,926
富山	709	684	671	778	746	727	720
福井	364	362	364	328	312	318	307
北海道・東北	142	143	180	178	171	147	168
東京	20	35	28	32	34	28	44
神奈川・埼玉・千葉	39	46	42	58	62	79	59
茨城・栃木・群馬	111	106	129	129	120	142	133
甲信越	474	512	553	516	531	475	503
東海	589	527	647	643	560	617	627
関西	382	350	352	373	334	377	334
中国・四国・九州	212	174	174	190	197	148	137
計	4,601	4,560	4,674	5,180	4,860	4,959	4,958

資料：北國総合研究所調べ：金沢大学、金沢工業大学、金沢星稜大学、金沢学院大学、金沢美術工芸大学、北陸学院大学の計（北陸学院大学はH25～28）

②石川県内の高校から全国への進学状況

(単位：人)

進学先	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
石川	2,118	2,161	2,116	2,402	2,234	2,340	2,353
富山	414	386	392	368	385	371	360
福井	136	129	116	160	175	154	144
北海道・東北	126	114	104	120	108	122	124
東京	513	532	502	476	468	487	480
神奈川・埼玉・千葉	349	359	287	295	302	323	333
茨城・栃木・群馬	73	52	49	52	55	71	70
甲信越	111	130	133	133	161	164	160
東海	388	427	388	412	385	391	354
関西	1,054	1,054	1,066	1,029	959	949	950
中国・四国・九州	69	101	93	107	98	87	107
計	5,351	5,445	5,246	5,554	5,330	5,459	5,435

資料：文部科学省 学校基本調査「大学・大学院 出身高校の所在地県別入学者数」

3. 歴史・伝統・文化など「金沢らしさ」の保全と継承

(1) 主な芸術・文化施設の入場者数

(単位：千人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
兼 六 園	1,638	1,549	1,733	1,727	2,037	3,089	2,912
金沢城公園	1,047	926	927	1,034	1,360	2,383	2,267
金沢 21 世紀美術館	1,550	1,487	1,471	1,474	1,761	2,373	2,554

資料：各施設

(2) ひがし茶屋、長町武家屋敷休憩館及び西茶屋資料館利用者数

(単位：千人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
ひがし茶屋休憩館	105	109	114	125	140	254	238
長町武家屋敷休憩館	96	90	90	88	97	178	169
西茶屋資料館	34	32	35	36	43	70	66

資料：金沢市

(3) 加賀友禅会館等の着物レンタル回数

(単位：回)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
加賀友禅会館	1,220	1,054	1,262	1,155	1,288	2,485	1,853
そ の 他	149	51	78	902	2,371	8,099	13,404
計	1,369	1,105	1,340	2,057	3,659	10,584	15,257

北國総合研究所調べ その他：7店舗に照会し、2店舗から回答を得たもの

(4) 土産物店の売上推移

- ・平成 27 年度には、売上が大きく伸びている。

県観光物産館：H22=100、金沢駅土産物店：H25=100

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
県観光物産館	100.0	107.0	101.7	94.5	111.6	135.0	121.5
金沢駅土産物店				100.0	123.7	235.5	213.7

北國総合研究所調べ

(5) 金沢・クラフト広坂、dining gallery 銀座の金沢 の売上額

- ・クラフト広坂、銀座の金沢ともに売上げが伸びている。

(単位：千円)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
クラフト広坂	56,721	51,985	48,605	46,668	44,912	57,407	57,855
銀座の金沢					49,944	92,903	107,646

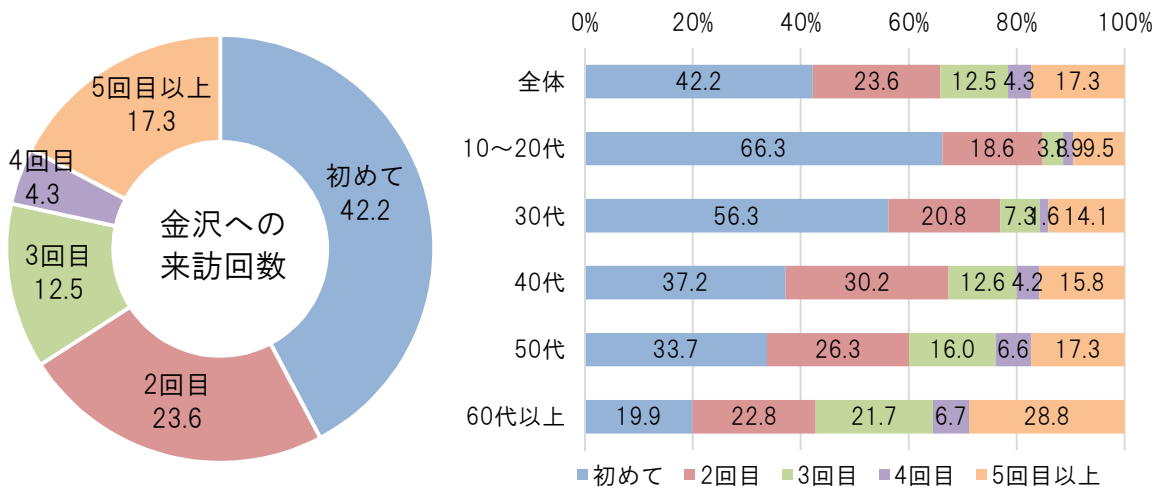
資料：金沢市 dining gallery 銀座の金沢は H26.10.30 開設

(6) 金沢への旅行状況（平成 28 年度・日本人）

資料：金沢市観光調査結果報告書 H28. 9. 22～10. 23、11. 19～12. 18 実施調査結果 1181 人から回答

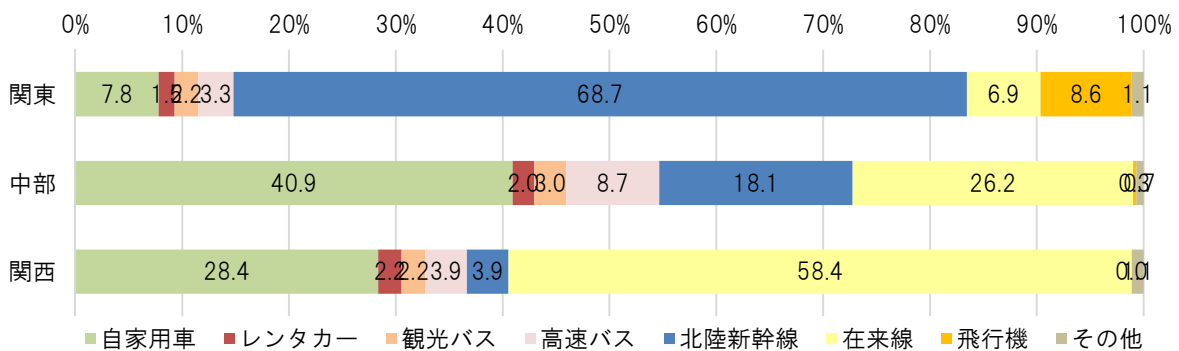
① 金沢への来訪回数

・金沢への来訪は初めてが 42.2%と最多で、5 回目以上も 17.3%あった。



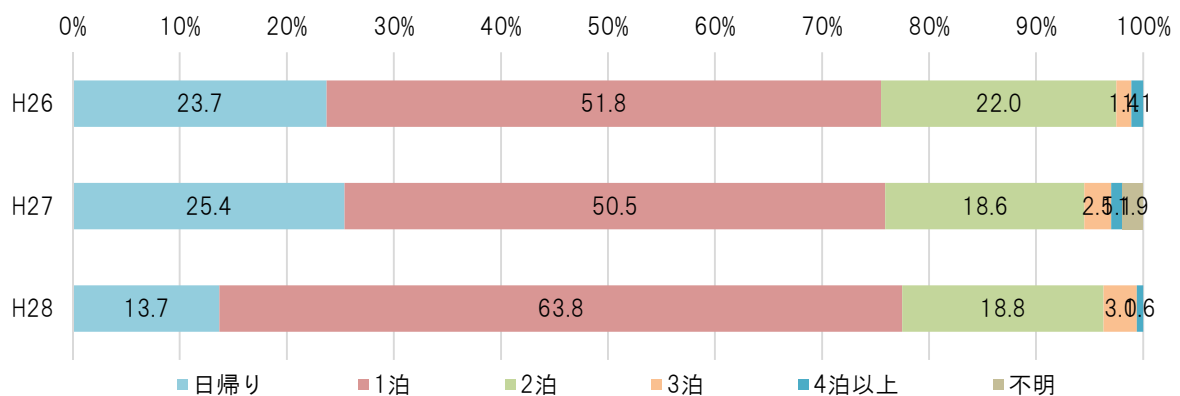
② 金沢への交通手段

・交通手段は、関東からは北陸新幹線が 68.7%、関西からも 3.9%の利用があった。



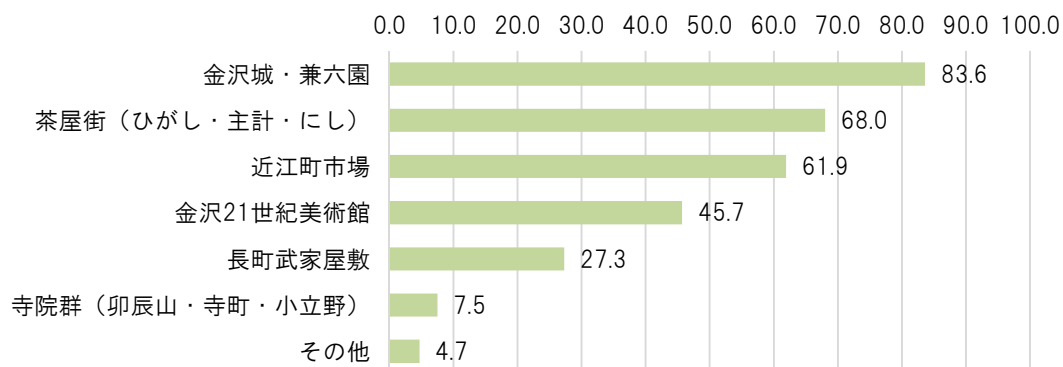
③ 金沢での宿泊数

・宿泊しない人の割合は、28 年度には、前年から 10 ポイント以上減少している。

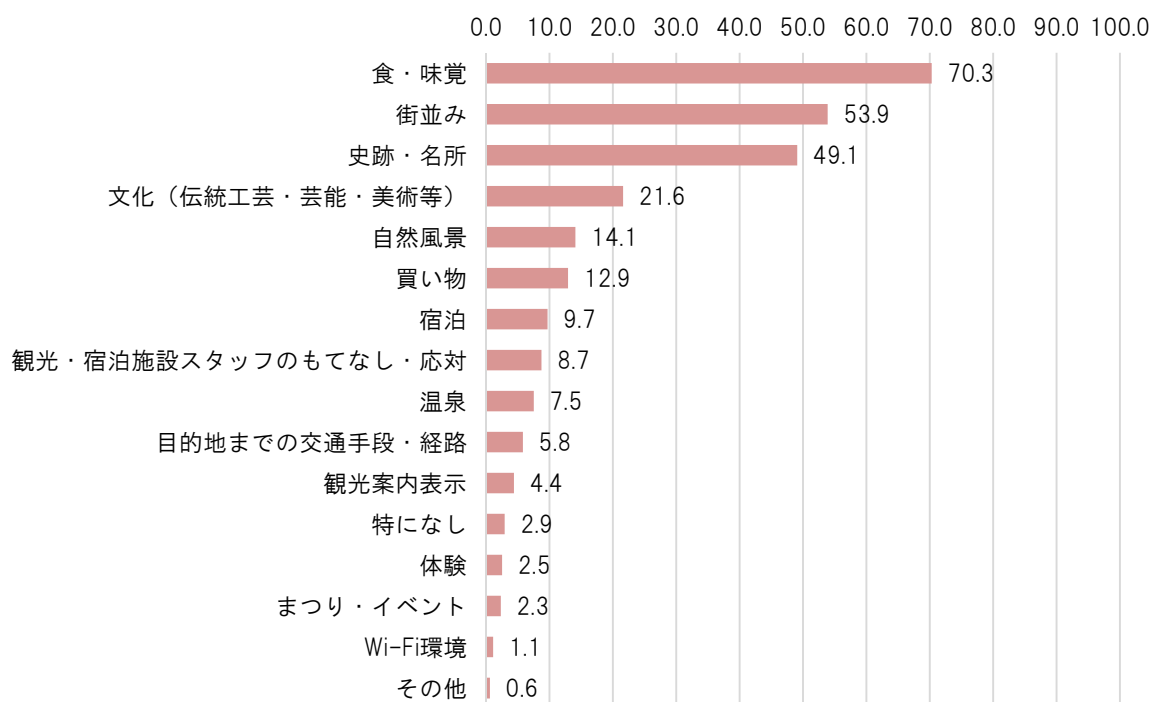


④市内の周遊先（複数回答）

・金沢城・兼六園、茶屋街、近江町市場は、過半数の旅行者が行き先を選んでいる。



⑤金沢で満足したこと（複数回答）



⑥金沢で不満な点（複数回答）

- ・食・味覚・・・ガイドブックの店がいまいちだった。
- ・景観・街並み・・・茶屋街で写真を撮ると後ろにビルが写った。
- ・風情・・・夜の治安が良くない。
- ・交通機関・・・バスがわかりづらい。ICカードが使えない。バス停からの案内。
- ・観光しやすい街・・・1日あれば回れてしまう。
- ・宿泊施設・・・ホテル代が高い。ホテルがとれない。
- ・その他・・・トイレが少ない、雨が多い 等

(7) 金沢訪問者によるブログでのキーワードの変化にみる「アイコン消費」の状況

- ・金沢への訪問者が作成・公開したブログ記事を開業前後で比較すると、場所に関しては、金沢駅、近江町市場、金沢城等が増加した。(図1)
- ・飲食に関わる語句では、のどぐろ、ソフトクリーム(金箔ソフトクリームを含む)、寿司、海鮮丼、回転ずし等が増加し、酒、料理、カフェ、加賀野菜、和菓子等の出現率が減少していた。

出典：2017年 伊藤悟(金沢大学)、掛上麻衣(金沢大学)
 金沢の心象風景が北陸新幹線開業後どう変わったかー訪問者のブログ記事を素材にした分析ーより
 開業前後の各1年間に作成・公開されたブログを対象に、10%以上の記事に出現する語句を収集

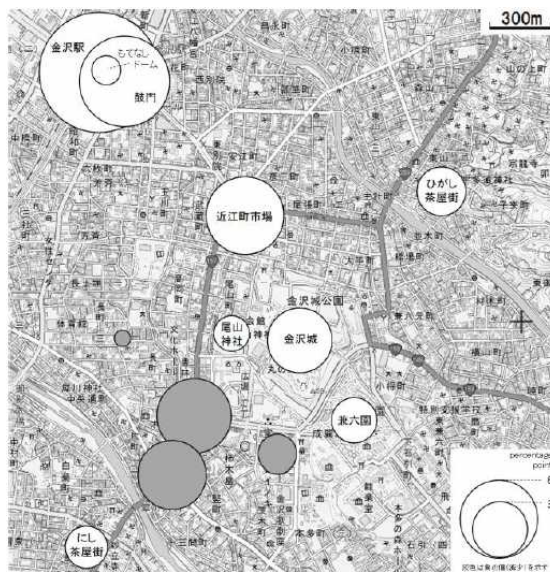


図1 場所に関わる語句の出現率増減
(背景は地理院地図)

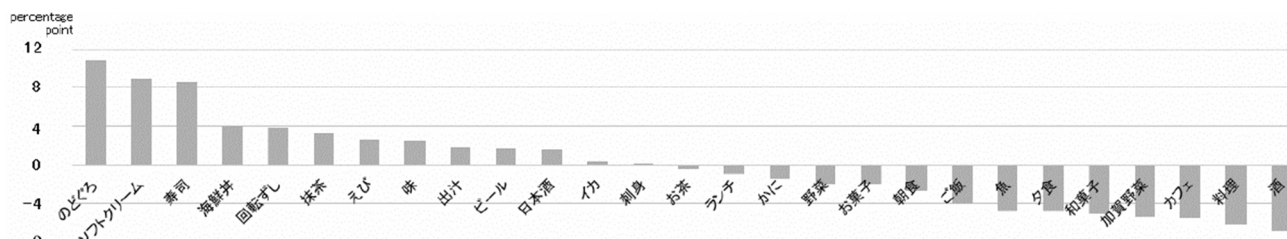


図2 飲食に関わる語句の出現率増減

(8) 公示地価の比較(市内各地点)

- ・地価は長期的な下降基調にあったが、平成23年以降、駅周辺の上昇が続いている。
- ・片町、堅町においても、平成26年から上昇に転じている。
- ・商業地平均は上昇傾向にあるが、住宅地平均は大きな変動はない。

(単位：円/㎡)

年	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
市平均	97,040	93,824	95,484	95,541	98,464	101,691	108,179
住宅地平均	76,554	74,154	70,420	70,123	70,416	71,871	72,973
商業地平均	175,840	169,980	172,000	173,828	183,121	201,172	212,767
駅 東	555,000	555,000	590,000	625,000	680,000	770,000	880,000
片 町	500,000	478,000	462,000	457,000	468,000	530,000	580,000
広 岡	255,000	250,000	263,000	293,000	343,000	450,000	540,000
堅 町	250,000	238,000	229,000	220,000	220,000	245,000	265,000

資料：国土交通省(駅東：本町2-16-16、片町：片町2-1-7、広岡：広岡1-1-18、堅町：堅町30番外)

(9) 市内各地点の歩行者通行量

①休 日

(単位：人)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
駅 東	百番街前（フォーラス前）	13,599	19,995	11,723	16,468	29,791	24,199	28,509
	ガーデンホテル前	3,767	5,041	5,036	5,508	6,519	6,317	7,534
横安江町	コラボン前	1,123	1,503	1,440	2,571	1,664	1,879	1,592
武 蔵	めいてつエムザ前	5,850	7,068	6,561	9,353	9,500	7,194	11,597
近江町 市 場	パーキング口	3,998	3,910	3,056	1,736	3,605	4,602	4,384
	エムザ口		7,384	6,698	4,680	7,954	11,190	10,393
尾張町	宗重ビル前	2,018	1,413	1,259	1,441	1,369	1,403	1,915
香林坊	アトリオ前	9,191	9,945	8,923	12,213	11,691	9,932	11,728
片 町	プレーゴ前	12,537	24,232	19,993	23,267	14,390	11,400	12,373
豎 町	砂場ビル前	15,654	23,942	18,625	20,311	16,506	16,097	14,792
計		65,719	103,020	82,055	96,107	101,620	92,810	102,902
(天 候)		晴れ時々曇り	曇り時々雨	雨→曇り	晴れ	晴→曇り	曇り時々雨	雨→曇り

②平 日

(単位：人)

年 度		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
駅 東	百番街前（フォーラス前）	10,089	11,152	7,628	8,215	17,262	15,578	18,564
	ガーデンホテル前	5,104	4,549	4,503	3,201	4,013	5,744	5,430
横安江町	コラボン前	1,589	1,675	1,491	1,200	1,500	1,537	1,693
武 蔵	めいてつエムザ前	7,821	6,527	6,137	4,836	7,664	6,803	9,431
近江町 市 場	パーキング口	3,275	2,722	2,710	2,226	2,668	3,444	2,414
	エムザ口		5,846	5,261	4,915	5,065	7,445	6,751
尾張町	宗重ビル前	9,138	7,723	7,406	8,627	8,081	7,787	8,822
香林坊	アトリオ前	7,176	7,247	6,673	5,911	6,128	6,147	6,777
片 町	プレーゴ前	8,776	8,954	7,309	5,644	6,586	7,618	7,004
豎 町	砂場ビル前	10,089	11,152	7,628	8,215	17,262	15,578	18,564
計		52,968	56,395	49,118	44,775	58,967	62,103	66,886
(天 候)		晴れ→曇り	晴れ→曇り	曇り→晴れ	曇り時々雨	晴れ	晴れ	晴れ

資料：金沢市

4. 外国人旅行者の増加

(1) 訪日外国人旅行者数（日本人の出国数と比較）

- 平成 24 年以降、来日外国人が急上昇している。

(単位：千人)

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
海外から日本	8,611	6,219	8,358	10,364	13,413	19,737	24,039
日本から海外	16,637	16,994	18,491	17,473	16,903	16,214	17,116

資料：日本政府観光局

(2) 外国人の訪問先都道府県

①総数

- 平成 28 年の訪日外国人 2,400 万人のうち、石川県への訪問は 2.0%にとどまっている。

(単位：千人)



②ヨーロッパ・北米・オセアニア



資料：国土交通省 FF-Data

(3) ラグビーワールドカップ 2019 日本大会の経済波及効果試算

- 2019 年 9 月 20 日～11 月 2 日（44 日間・東京オリンピックは 17 日間）に開催される。
- 全国 12 都市が会場となり、参加国はヨーロッパ・オセアニア地域が中心である。

直接効果	一次波及効果	二次波及効果	経済波及効果
1,422 億円	528 億円	380 億円	2,330 億円

資料：日本政策投資銀行

(4) 発地別外国人宿泊客数

・市が2020年の目標として設定していた年間40万人を平成28年にほぼ達成している。

(単位：人)

年	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
北米	14,086	6,527	9,028	14,955	17,802	28,740	38,847
中南米	431	332	671	714	1,111	3,015	2,222
ヨーロッパ	23,604	8,955	15,353	20,794	27,491	49,481	70,491
オセアニア	4,654	2,613	4,495	5,789	7,280	11,765	17,821
アフリカ	236	171	278	237	206	702	719
アジア	61,641	39,898	71,615	103,333	110,482	136,723	231,198
台湾	33,955	23,401	44,132	59,767	61,278	60,762	93,374
香港	8,806	3,970	7,957	15,235	15,565	22,889	47,047
中国本土	5,848	4,375	5,850	7,751	9,514	21,789	37,320
中近東	1,016	137	559	1,886	3,337	3,333	5,052
不明	7,320	5,708	6,974	9,476	32,871	22,333	29,723
計	112,988	64,341	108,973	157,184	200,580	256,092	396,073

資料：金沢市観光調査結果報告書

(5) 北陸新幹線開業による経済波及効果に占める訪日外国人の影響

・開業後の増加数のうち、訪日外国人数は99,000人と全体の4%に過ぎないが、消費増加額では全体の2割を占めるなど、消費額においては、訪日外国人客約13人が、定住人口1人に相当する影響を与えている。

区分	開業後増加数 (千人回)			開業後(H27)消費単価 (千円)			消費増加額 (億円)			
	宿泊	日帰り	全体	宿泊	日帰り	全体	宿泊	全体	日帰り	
日本人	観光客	520	1,617	2,137	32	10	17	156	164	320
	ビジネス客	121	220	340	27	4	19	21	3	24
インバウンド	観光客	99	-	99	81	9	81	101	-	10
	ビジネス客	0	-	0	97	-	97	10	-	10
全体	740	1,837	2,577	34	9	19	288	166	454	

直接効果	間接一次効果	間接二次効果	合計
454億円	144億円	81億円	678億円

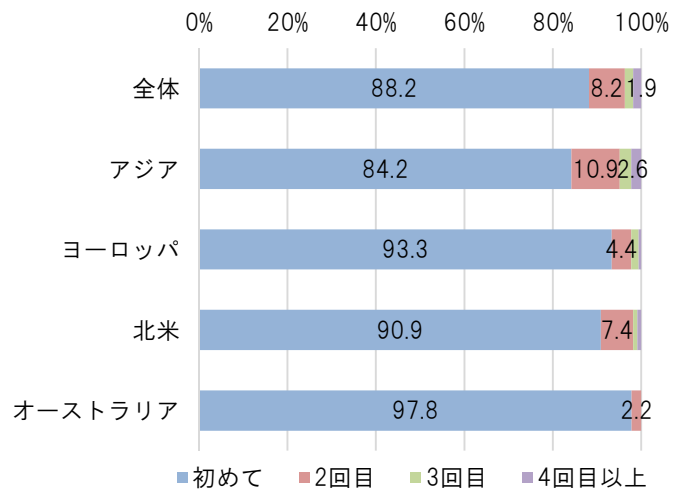
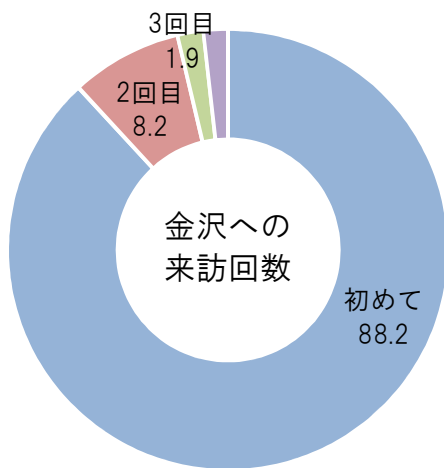
資料：日本政策投資銀行

(6) 金沢への旅行状況（平成 28 年度・外国人）

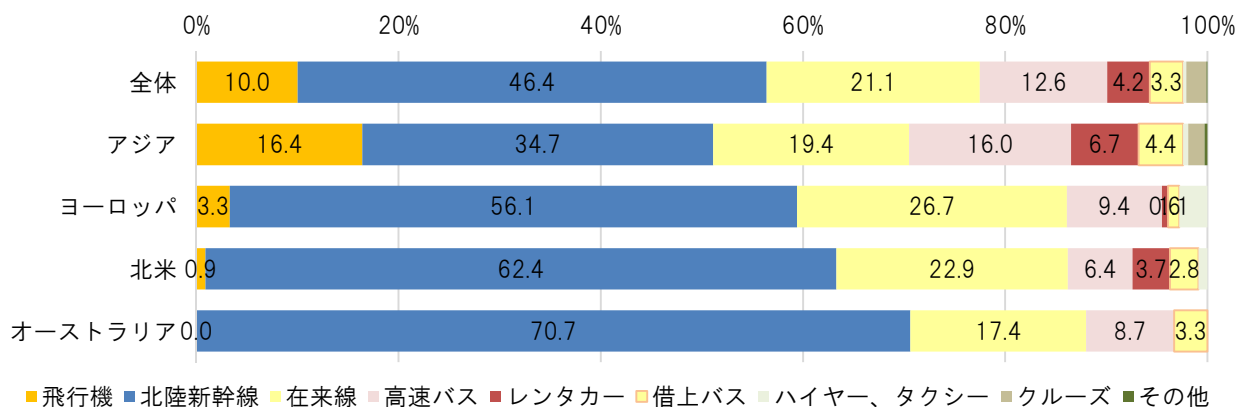
資料：金沢市観光調査結果報告書 H28. 9. 22～10. 23、11. 19～12. 18 実施調査結果 1128 人から回答

①金沢への来訪回数

・金沢への来訪は初めてが 88.2% と多い。

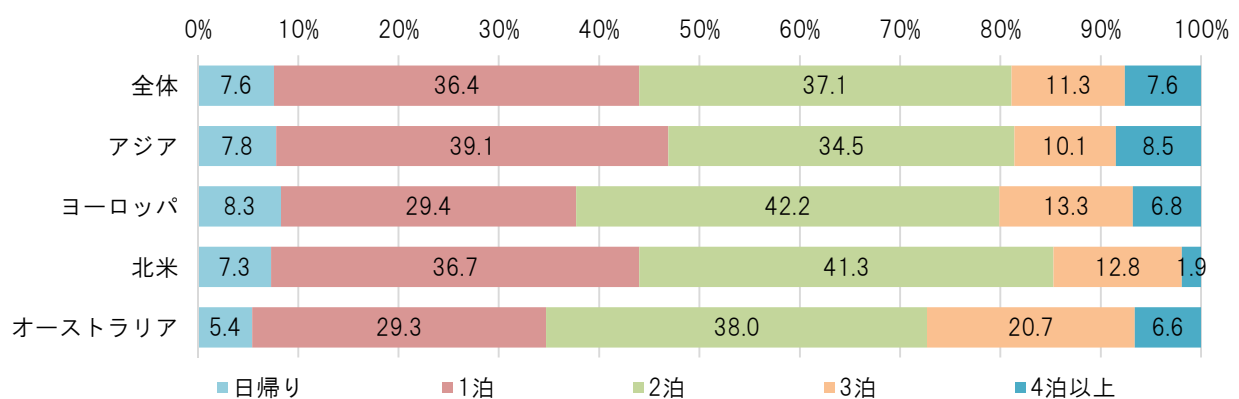


②金沢への交通手段



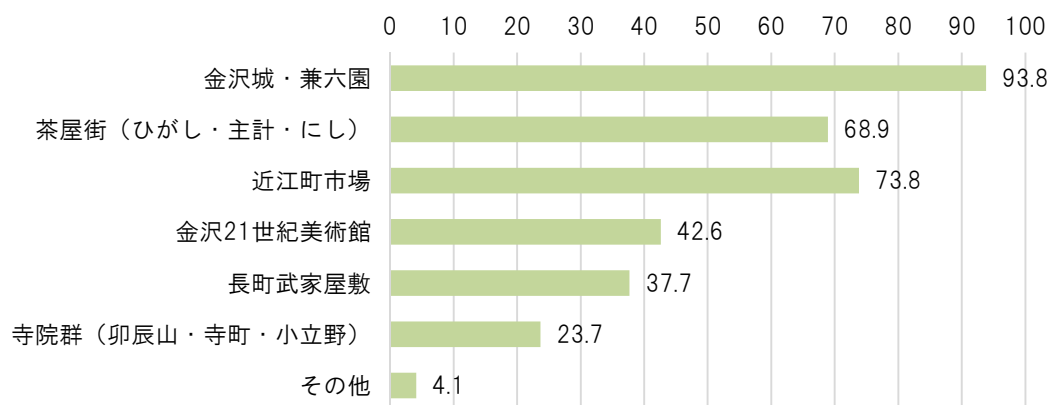
③金沢での宿泊数

・アジアからは 1泊が最も多いが、北米、オーストラリアからは 2泊が多い。

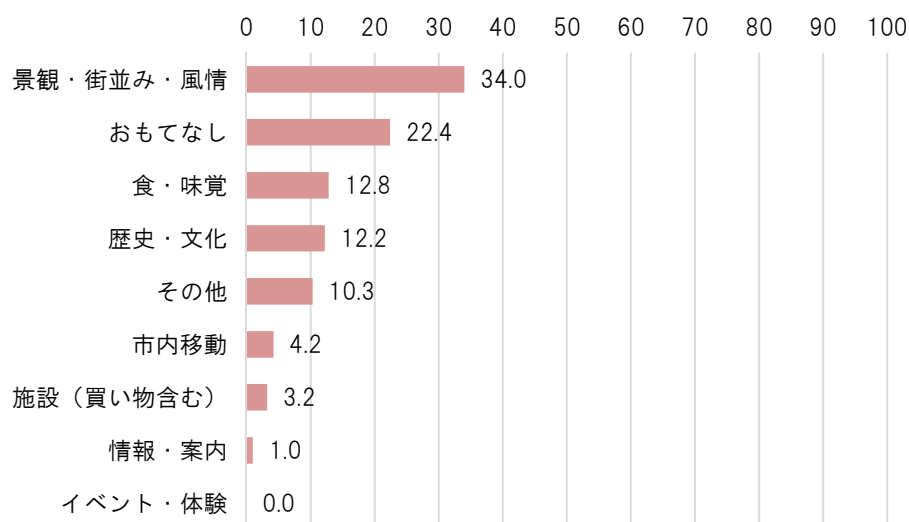


④市内の周遊先（複数回答）

・国内同様、金沢城・兼六園、茶屋街、近江町市場に過半数が周遊している。



⑤金沢で満足したこと（複数回答）



⑥金沢で不満な点（回答者各1名、回答が少ないためすべて記載）

- ・閉まるのが早すぎる。
- ・庭とお城しかみるところがない。
- ・人が多い。
- ・ちょっと静かすぎる。
- ・料理のメニューが英語になっていたがわかりにくかった。
- ・雨が多い。

5. 市民生活と調和した持続可能な観光振興

(1) ぼい捨て等防止重点区域指導件数

(単位：件)

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
喫煙			60	1,417	2,131	3,341	4,002
ぼい捨て			0	13	32	55	77
ペットのふん			0	0	0	0	0
計			60	1,430	2,163	3,396	4,079

資料：金沢市 ※ぼい捨て等防止重点区域…H24. 11. 30～駅東、H26. 9～駅周辺、H25. 11～香林坊、武蔵
H27. 3～ひがし茶屋街、兼六園・金沢21世紀美術館周辺、H27. 3～長町の各地区

(2) 新幹線開業の影響についての市民団体代表者等ヒアリング

- ・対象 観光客の多い地区の市民団体代表者、関係事業者等 60 団体
- ・期間 平成 29 年 5 ～ 7 月

○開業によってプラスの効果が表れている点は何ですか。

市民団体	<ul style="list-style-type: none"> ・東京への時間距離が短縮された。長野、軽井沢へも行きやすくなった。 ・来街者に影響され、市民もまちなかをよく歩くようになった。 ・着物を着て歩くのが似合うまちであり、着物を着てくれているのがよい。 (ただし、加賀友禅でないものが多いのは残念) ・外国人がたくさん来てくれている。 ・タクシー運転手のマナーが向上している。 <p>【東山地区】・この機に商売を始める人もおり、建物がまちなみに合うものに改修されたり、駐車場が店に変わるなど、景観の向上につながっている。</p> <p>【長町地区】・欧米人が増えている。サムライといえば長町とわかって来てくれている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず交通規制を行い、景観施策に取り組んできたが、順番が正しかった。
事業者	<p>【観光】・関東だけでなく関西、中京圏からの利用者も増えた。 (アナウンス効果や、関西から長野に行く人が経由するため等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年目と比べ団体から個人客にシフトしており、メニューや土産を工夫 ・外国人は長期休み等には来ず、閑散期に来るのでありがたい。 <p>【宿泊】・従業員の待遇が向上しモチベーションや意識が高まっている。 (食材に地元産を増やしたり、進んで自己啓発を行っているなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人手不足が指摘されているが、かえって良い人材が来ている。 ・人材の育成が重要であり、外部研修に多く参加させている。 ・客単価が上がり、売上げは伸びている。 <p>【飲食】・観光客の多い場所での売上げがよい(菓子)。</p> <p>【交通】・バス、鉄道の利用者が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内表示、英語の車内放送、増発等対応を行っている。 <p>【商業】・土日の飲食店の売上げ増、お菓子の売上げ、免税店の売上げ増。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船の乗船客が増加している。 ・支社が増えて本社からの来訪も増え、交流人口が増えている。 <p>【近江町市場】・観光客によって賑わいが増えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客にもリピーターが増えてきた。 ・外国人が増えた。特に水曜や日曜が多い。

○開業によってマイナスの影響が表れている点は何ですか。

市民団体	<ul style="list-style-type: none"> ・おでん屋に行くのに予約が必要になった。 ・商売をしていればメリットがあるが、住民として良いことはない。 (自分が住むまちであるのに隅を歩かなければならない、駐車場から車の出し入れができない。早朝や夜、大声で歩く人がいるなど) 【長町地区】・外国人観光客が門を開けて民地を覗かれた。 【東山地区】・朝から大声で話しながら住宅地に入ってくる観光客がいる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地上げのように、家をじろじろ見られたり、売ってほしいと言われる。 ・地区内の店で買ったソフトクリームのコーンやごみを、傘立てや郵便受けに捨てられた。 ・まちづくり協定で、管理人がいない宿所を認めないようにしたことなど、先手を打ってきたことが功を奏している。後手はよくない。 ・交通混雑、ぼい捨て、食べ歩き、民家覗きが増加。 ・まちづくり協定の新規締結や変更を行った。 ・タクシー会社への申し入れにより、客待ちが減った。 ・駐車場の出し入れが難しい。 ・駐車料金が高騰しており住民用駐車場の確保が困難。 【長町地区】・観光客による空き缶などのぼい捨てが多い。 <ul style="list-style-type: none"> ・車や自転車を駐め、歩いて回りたいというニーズがあるが、駐車場や駐輪場が少ない。 ・ホテルで自転車が借りられるサービスも多いが、駐輪場でない路上等に駐めてしまう。
事業者	<ul style="list-style-type: none"> 【観光】・観光のトップシーズンにコンベンションや修学旅行を誘致しているが、限られた受け皿の中DMO等によるマネジメントが必要。 【宿泊】・宿泊料金の高騰による印象の悪化。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人客増により宿泊料金が高騰し、団体客が受けにくくなる。 【飲食】・悪質なキャンセルが非常に多くなった。 <ul style="list-style-type: none"> ・良い人材の取り合いとなり人件費が高騰。 ・地元客が予約できない。 ・食材費や人件費が増え値上げすると驕りと受け取られる。 ・まちなかでは観光需要が小さく、あまり恩恵は受けていない。 【交通】・乗換えが増えたり事業者が増えて切符の買い方が複雑になった。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルを会議利用する場合にも予約が取りにくい。 【商業】・買い回り客に関してはストロー現象が起きている。(銀座等近い) <ul style="list-style-type: none"> ・ネット販売が盛んになっているので商取引のIT化推進が必要。 【近江町市場】 <ul style="list-style-type: none"> ・開業当初、大変な混雑があり、地元客が離れてしまった。 ・鮮魚店で、平日は地元客向け、休日は観光客向けにするなど工夫している。 ・混雑しているとの風評が残り、地元客が少ないままの店もある。 ・食べ歩き、ごみ、蟹を持ち上げての撮影、バナナを房から取るなど、様々なマナー違反があったが、外国語表示による注意やマナーパンフ配布などにより改善してきた。